

2019年6月19日

更埴教育会会員 様

更埴教育会長 堀口 潔

2019年度 更埴教育会「夏期研修」
『教育を語る会』のご案内

本年度の「教育を語る会」を下記の内容で開催します。

特に本年度は、テーマを「原点回帰 ～自ら求め続けるとは～」とし、中村浩志先生にご講演会から学んだり、シンポジウムを設け広く会員の意見を交換し合ったりしたいと思います。

皆様には、万障お繰り合わせのうえ、奮ってご参加いただきますようご案内いたします。

記

- 1 期日 2019年8月1日 (木)
2 主催 一般社団法人 更埴教育会
3 共催 公益社団法人 信濃教育会
4 会場 「杏泉閣」(千曲市稲荷山571-1)
TEL.026-272-1154
5 テーマ 『原点回帰 ～自ら求め続けるとは～』



- 6 日程
(1) 受付 9:30～9:50
(2) 開講式 9:50～10:00
(3) 講演会 10:10～11:50
講師 信州大学名誉教授 中村 浩志 先生
演題 「私が追い求めてきたこと 鳥と人間の世界 ～生涯かけて学び続ける意義～」
(4) 昼食 12:00～12:50 (各分散会場に弁当を準備します)

★ノーネクタイの上

軽装でご参加ください。

- (5) シンポジウム 13:00～15:00
わたしが求める研修 ～全郡研究のあり方についての会員討論会～
① 全体会 (基調) 13:00～13:50 (50分)
[全体司会者] 柳澤 正寿 さん (あり方検討委員会世話係; 南条小学校教頭)
[提案者] 基調提案 高地 達也 さん (あり方検討委員会委員長; 屋代小学校)
具体提案 あり方検討委員会委員など
② 学校別グループ討議 13:50～14:20 (30分)
③ 全体会 (意見交換会) 14:20～15:00 (40分)

- (6) 分散会 15:20～16:40 (班ごとに話し合います)
(7) 懇親会 17:00～18:30
7 参加費 ・昼食代 300円 (昼食代900円のうち600円は教育会より補助)
・懇親会費 3700円 (懇親会参加者)
8 参加申込 ・各校の代議員の先生に6月28日 (金) までにお申し込みください。
9 交通案内 ・「杏泉閣」前には駐車できません。千曲川河川敷駐車場に車を置いていただき、河川敷発 9:20、9:30 頃のマイクロバスをご利用ください。
・分散会終了後 17:00 に河川敷まで、懇親会終了後 19:00 に河川敷経由で屋代駅までマイクロバスを運行します。ご利用ください。
10 その他 ・ノーネクタイの上、軽装でご参加ください。
・懇親会に参加される先生方は、学校で付けている名札をご持参ください。

語り合おう!!

今 変わるとき

会長からのメッセージ

更埴教育会総集会では多くの会員の参加により、新しい「令和」の時代を力強く踏み出すことができました。さて、夏には更埴教育会が大切にしてきた事業である「教育を語る会」が開催されます。

総集会でもお話ししましたが、時代の波に押しつぶされることなく、マンネリから脱却し、「憑高臨遠」(りょうこうりんえん)の如く高い所(教師・教育・人間の本质)を憑りどころにして、遠く(全ての子どもたち)を照らす精神を大切に、自主的研修機関である更埴教育会のあり方を会員自らの手で考え、再構築していくために、全郡研究をどのような形で行っていくのかは更埴教育会の大きな課題です。

全郡研究は、上からの押しつけの研究ではなく、自校の腹の中から出た研究であり、各校が立つための研究、その地域・学校から発する自主的な研究、もっと言えば、目の前の子どもをどうするかという問いから発する研究であった。

という「全郡研究」創設の趣旨を再確認し、これからの全郡研究をどうしていくのかを視点に会員が本音で語り合うことは、我々の自主的研修をどうしていくのか、未来の更埴教育会のあり方そのものを確かめ合うことにつながると期待しています。当日は本音で語り合いましょう。

更埴教育会長 堀口 潔

【2019年度 更埴教育会 教育を語る会講演会】

演題 「私が追い求めてきたこと 鳥と人間の世界

～生涯かけて学び続ける意義～

講師 信州大学名誉教授・

一般財団法人中村浩志国際鳥類研究所 代表理事 中村浩志 氏

●中村浩志先生プロフィール

1947年長野県埴科郡坂城町生まれ。信州大学教育学部卒業。京都大学大学院修士課程修了、同博士課程単位取得。信州大学教育学部助手、助教授を経て、1992年より教授。

専門は鳥類生態学。理学博士。これまでの主な研究はカラビラの生態研究、カッコウの托卵生態と宿主との相互進化に関する研究、ライチョウの生態と進化に関する研究など。2002年、カッコウの研究で第11回「山階芳麿賞」受賞。日本鳥学会元会長。ライチョウ会議議長。主な著書に『戸隠の自然』『千曲川の自然』(ともに信濃毎日新聞社)、『甕れ、ブッポウソウ』『ライチョウが語りかけるもの』(ともに山と溪谷社)、『二万年の奇跡を生きた鳥 ライチョウ』(農山漁村文化協会)など。

2012年に信州大学を退職。名誉教授。退職後3年間信州大学教育学部特任教授。現在は、一般財団法人 中村浩志国際鳥類研究所 代表理事。

